

02

降格・減給でグチをこぼすのは、 クビを回避してもらった温情に 逆ギレすること。

50代になると、降格と減給という体験に迫られます。

今までは、ずっと出世の連続でした。

給料も、30代はイケイケの右肩上がりです。

40代になると、それが止まるのです。

「おや、このままイケイケで行くつもりだったのに、止まるぞ」ということが、ここでわかります。

止まるだけなら、まだいいのです。

50代になると、一生懸命働いているのに給料が下がるという事態が起こるのです。アスリートにも、「伸びていく時期」と「止まる時期」と「下がり始める時期」があります。

ピークを過ぎて下り坂になった時に、それとどうつき合っていくかが大切です。

下り方に哲学が生まれます。

50代は長距離ランナーになっていくことです。

皇居のまわりでは、プロの選手から、市民ランナー、趣味の人まで毎日走っています。追い越されると、イラッとして飛ばしたくなります。

ここで「どうぞ先へ行ってください」と言えるのが、ベテランランナーです。

50代には出向があります。

いわゆる「左遷」という形で関連会社に行ったり、どこか遠くへ飛ばされて、そのまま島流しのような形で一生を終える人もいます。

50代になると、たいていの人はこうした降格と減給で凹みます。